

■ 講座概要 全4日間 総講義数 14 講義

	講座概要 (講師)
危機管理総論 ー求められる危機管理士像Ⅰー	経済活動のグローバル化に伴い日本企業の立場の認識と責任の自覚が求められている。 この観点から安全保障とは危機管理とは養成する危機管理士像を語る。 (金沢工業大学危機管理研究室 教授 / 元近畿公安調査局長 古市 達郎)
安全保障・危機管理における組織の役割 ー求められる危機管理士像Ⅱー	安全保障の意義と、その中で企業、自治体、個人等の果たすべき責任とその重要性、並びに日本の国家としての脆弱性と国民意識など安全保障・危機管理上の問題点について解説。 (軍事アナリスト / あいおい損害保険株式会社 顧問 / 一橋総研研究所アドバイザー 矢野 義昭)
危機管理における経営戦略の計画手法 ー危機管理からビジネスの勝機をつかむ！ー	状況判断とは、自ら企図し或は付与された仕事を、合理的かつ効果的に行い良い成果を挙げるために最良の方法を決定することであり、また状況判断を行うことによって最良の方法を実行する際に作成する実行計画の重要な資料を得ることができ、計画作成が容易になるとともに仕事の終了後に行う成果の分析・評価などが容易になる。 本講義では状況判断の一方法等の概要を教育する。 (元陸自・化学学校長 鬼塚 隆志)
多様なテロと災害への対応 ーテロの可能性と安全方策を推察するー	日本もテロ対象国であるということは免れない。しかし、現実にはその対処が十分に施されているとはいえない。 ひとたびテロが起これば、被害は一般人に及ぶ。 テロには NBCRE などがあるが、それぞれのテロに遭遇した際に知っていれば身を守ることができる個人防衛策について具体的に解説。 (日本安全保障・危機管理学会理事長 二見 宣)
情報セキュリティ ー情報は簡単に漏洩する！漏洩対策3つのポイントー	企業情報や防衛情報が流出し、大きな経済的損失や信頼性の低下が大きく、深刻な問題を提起している。 現実の事件やインシデントを分析・紹介して企業や団体の内部情報をいかにすれば守れるのかを解説。 (情報保全アナリスト 長谷川 忠)
海外における日系企業及び邦人保護 ー邦人誘拐事件にみる命の値段ー	日系企業および在留邦人の安全保護は日本国の国益そのものである。 その理解のもと、事前の情報収集や現地の治安・対日感情など情報収集体制の確立、国際テロの類型・傾向を把握し海外における安全に関する十分な対策と行動の在り方を学ぶ。 (株) インテリジェンス・クリエイト代表取締役社長 / 元公安調査庁調査第二部長 佐々木 博行)
組織のマスコミ対策 ーいざという時にマスコミと上手に付き合う方法ー	不祥事発生時において、マスコミは果たして常に巨大な敵なのか。 上手なマスコミとの付き合い、対応によってはむしろこれを味方につけ、組織の再生、イメージアップの好機に変えることすらできるのである。こうした意識改革とそのための具体的方策を解説。 (金沢工業大学危機管理研究室 教授 / 元近畿公安調査局長 古市 達郎)
ガバナンスとコンプライアンス ー不正・不祥事による組織のダメージを救うー	社会に於ける安全保障と成長を前提とした講座の一つとして解説。ガバナンスの目的は事業体の戦略的な目標に即した事業継続 (BCM) である。一方、コンプライアンスの目的は法令遵守を超えたポリシーマネジメントであり、この二つを繋ぐ要が危機管理 (又はリスク管理) である。経営 (行政執行) の基軸であり事業体の価値源泉となる3つのキーワードを中心に基本テーマである危機管理の全体像を明らかにする。 (JSPA 専務理事 清正 登喜夫)
防災と国民保護法 ー国民の安全と安心を守るー	大規模災害多発の時代になりました。これは、「大地動乱＝地学的理由」、「異常気象＝気象学的理由」、「日本型安全システムの崩壊＝経済・社会的理由」から来る必然的なものだと思います。 また、国民保護法の成立により、国の危機管理体制がどのように進展したかを知っておく必要があります。 (東京理科大学総合研究機構教授 / 元総務省消防庁国民保護・防災部長 小林 恭一)
管理者のためのメンタルヘルス ー組織としての自殺予防対策ー	組織運営におけるメンタルヘルス上のリスク、特に自殺問題について、うつ病患者を出さない組織作りから、患者の早期発見・早期対応、医療対応、職場復帰、自殺事故生起後の対応までを解説。 (シニア産業カウンセラー / (株) 話育総研代表取締役 / 元防衛研究所教育部長 渡辺 秀樹)
パンデミックインフルエンザ対応 ー感染爆発がもたらす経済的ダメージと企業の事業継続ー	医療の危機管理、特にパンデミックの警報フェーズにおける対応を中心に。 感染症とは・感染症の予防法、感染症への対応、装備について政府・自治体・個人のレベルにわけて解説。 (防衛医科大学名誉教授 六反田 亮)
防犯・犯罪と組織安全・治安 ー在留外国人の犯罪の手口ー	危険認知から犯罪発生時の状況把握と実際対応について。敵対的存在の把握と情報収集。問題発生時における解決案。内通者、敵対的存在親交者の発見および対処について解説。 (犯罪アナリスト 北芝 健)
事業継続計画 (BCP) ー被害からの速やかな復旧のためにー	いかなる会社にも社会的責任があり、事業の断然や廃業は許されない。 BCP は事業継続・企業存続のための革新的技術であり、被害を局限し CSR (企業の社会的責任) 面からの企業価値の向上にも資することができる。本講義では、ヒト・モノ・カネ等の確保を計画策定上のポイントを押さえ、「自社の身の丈にあった実践的対策」のための方法論を提示。((株) あいおいリスクコンサルティング 執行役員 企画開発部長 北澤 一保)
司法からみたコンプライアンス ー裁判に負けないための対応策ー	企業内外での法的紛争の予防・対策、危機発生時の対応方法。 講師の具体的な経験から、実践的かつ総合的な危機管理のノウハウを学んで頂く。 (弁護士法人川目法律事務所 所長・弁護士 川目 武彦)